## 特記仕様書-1

A. 工事仕様 1. 適用基準等	本工事は、標準仕様書・特記仕様書・設計図・現場説明書・追加指示事項	書・内訳書・質疑応答書ならびに官公署規則(建築基準法、消防法等)に従い施工すること。
2. 共通仕様書	設計図書の優先順位は、下記のとおりとする。	
2. 八起任禄昌	1) 現場説明書および現場説明書に対する質問回答書	
	2) 特記仕様書(図面記載のものおよび別冊を含む)	
	3) 「横浜市建築局機械設備工事特則仕様書」(令和元年6.	月)
	4) 横浜市建築局監修「機械設備工事施エマニュアル」(平	成29年版)・(令和2年5月部分改訂版)
	5〉 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準	
	「公共建築改修工事標準仕様書 機械設備編」(平成31	
	国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修「公共	運染設備工事標準図   機械設備工事編」(平成31年版 <i>)</i>
3. 特記仕様の基準等	■ 機器の据付けおよび配管類の支持等に対する耐震処置は、国土交通省	国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修
	「建築設備耐震設計・施工指針(2014年版)」に準拠すること。	
	また、設計時の標準震度は、重要性の高い建築設備機器扱いとする。	
4. 官公庁への手続等	工事に必要な官公署、電力会社、電話会社等への手続きは迅速に行い	、これに要する費用は一切請負業者の負担とする。
E T##	丁声却の後、今丁切丁和末左/広舎   特別オファレ	
5. 工程表	工事契約後、全工期工程表を作成し提出すること。 	
6. 工事用材料等	エ事契約後施工着手前には、主要機材選定、メーカーリスト、機器承	諾図等を提出し、監督員の承諾を得たうえで発注すること。
	本工事に使用する機材について、監督員の指示するものについては見	
7. 疑 義	本工事の設計図書に関する疑義は、工事契約前に質疑応答書にて確認	すること。質疑に漏れたものは監督員の指示に従うこと。
8. 設計変更	請負業者は、監督員の承認した追加または変更に対しその都度変更内	
	また、監督員の指示する期日までに、変更図および変更数量書を作成	し提出すること。
9. 製作図、施工図	│ │ 本特記仕様書および添付図面は工事の大要を示すものであるから、請	自者は丁事着手前に施丁図を作成し、 監督員の承諾を受けること。
O. ATTEN NOTE	承認後の施工図、製作図等が現場に適合しない場合は、監督員に確認	
10. 立会検査	各工事は予め監督員の指示した工程に達したとき、立会検査を受ける	こと。施工後の検査が不可能または困難な工事は、その施工に際して
	立会検査を受けるか、または記録写真を残し、後日確認を受けること	。どちらによるかは監督員の指示によること。
11. 工事用電力用水等	工事用および機器試運転調整用電力、用水、排水等に要する費用は、	工事請負者の負担とする。
1 2. 工事写真		分は月2回程度撮影、プリント写真として監督員の指示する部数を提出のこと。
1 2. 工争步具	竣工技元人間もこなる工安部力を工事進歩れ近に彫りて、その他の部	ガは方と凹性皮域が、プラフト <del>コ</del> 兵として血自良の指がする中女と走山のこと。
13. 工事完成図書等	■ 工事完成に際しては、諸官庁および監督員の検査合格をもって完成と	し、工事請負者は完成図等を作成して監督員の承認を受けること。
	提出部数は監督員の指示による。	
	• 官公庁許可書	• 各種試験成績表
	・機器製作完成図・取扱説明書・保証書	• 工事写真集
	<ul><li>・付属品・予備品一覧表</li></ul>	• 工事関係者連絡先一覧表
	・アフターサービス連絡先一覧表	・完成図(A4ファイル製本、ノート製本)
	<ul><li>・施工図 (ノート製本)</li><li>・完成図・施工図の原図</li></ul>	・完成図・施工図のDATA(DWG・DXF・PDF)
	・元成図・旭工図の原図	・元成図・旭工図のDATA(DWG・DAF・PDF)
14. その他	□ 設計図に明示がなくても機能上当然必要と認められるものは、監督員	の指示に従い施工すること。この場合の請負金額の増減は行わない。
	本工事完成引渡し後1ヶ年を瑕疵期間とし、施工上の不備に関わるも	
B. 工事概要	病院10階レストラン跡地のうち厨房内の空調換気ダクト系統、給排水	
	主要改修場所は厨房内とし、エスコ事業で設置した空冷ヒートポンプ	式パッケーシ型空調機は残置とする。
1. 空調換気設備	┃ ┃ エスコ事業で設置した空冷ヒートポンプ式パッケージ型空調機(PAC	
1. 工的好火水心又响	厨房調理室系統の既設ダクトや配管等は撤去し、改修後の室内には換	
		AND
2. 自動制御設備	空冷ヒートポンプ式パッケージ型空調機(PAC-1001)の制御線等に	は離線をし、可能な限り撤去する。
3. 給排水衛生設備	厨房内の改修に伴い、衛生器具、給排水配管、給湯配管を撤去する。	
4. 消火設備	│ │ 厨房内の改修に伴い、スプリンクラーヘッドの再配置(撤去新設)を	fra de la companya d
一. //八以闸	MICHANIC LANGUAGE CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR O	ەر دا
5. 撤去工事	■ 既設空調·換気機器類、ダクト類、衛生器具、各種配管等を撤去し、通	動切に分別処分する。
	厨房器具の撤去は別途工事とするが、厨房器具に接続されている配管:	等の切り離しは本工事とする。
	ステンレスフード、フード内消火設備、グリーストラップ(廃油除去	処分を含む)の撤去は本工事とする。
	給水管·給湯管は、水が滞留し汚染源にならない位置まで撤去し、都市	5ガス配管はガス抜き後撤去すること。

C. 特記事項

1. その他注意事項

本工事は、病院全体機能を停止させることなく施工すると同時に、他工事が複雑に絡み合うこともあるので、

各施工業者間との調整や連携を保つなどのコミュニケーションを速やかにかつ迅速に行なう必要がある。その他、以下の注意事項を厳守すること。 1) 本工事の完成時には「横浜市機械設備工事特則仕様書」に示す完成図書を必要部数提出すること。

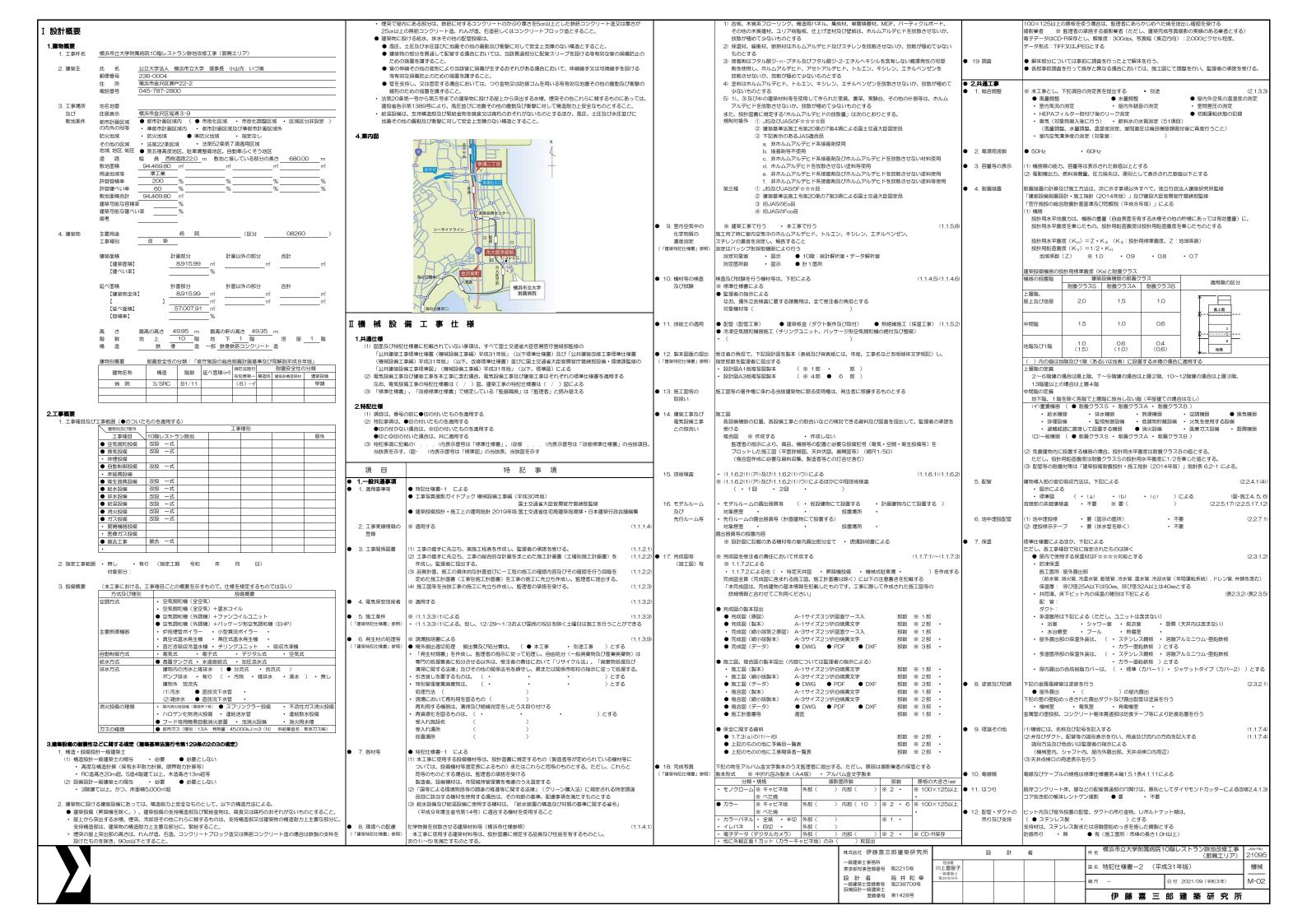
- 2) 本工事中に、予定外の停電・機器停止、給水や給湯の供給停止や漏水を生じさせることのないよう十分注意を払うこと。
- 3) 工事着手前に既存設備の設置状況を十分調査のうえ、既存機器設置業者と十分打合わせを行なうこと。
  - その結果、原設計図と異なる部分が生じたりその他不都合があった場合は、監督員に報告し指示を受けること。
- 4) 病院業務を継続しながらの工事であること、平日夜間・休祭日に行う工事も多いため、第三者に対する安全、費生等については細心の注意を払うこと。
- 5) 騒音、振動および粉じんが伴う工事は事前に打合わせを行い、指定時間に行なうこと。
- 6) 工事期間中の防災対策は、病院側の消防計画書に準拠するとともに、防災管理組織を編成し責任者を定め、病院の防火担当者と連携を保つこと。
- 7) 次の工事については事前に届出を行い、監督員と打ち合わせ、承諾を得てから行なうこと。
  - (1) 停電・断水が生じる工事
- (2) 消防設備の機能に支障を生じる工事
- (3) 医療ガスの供給が停止する工事
- (4) その他、診療、医療、調剤などに重大な影響が生じる工事
- (5) 工事資材・重量機器類の搬出入作業時
- 8) 工事関係者は、工事従事者であることを証する名札などの着用をする。
- 9) 緊急時の対応策、連絡体制が現場のみならず本社内にも周知徹底していること。
- 10) 既般躯体をダイヤモンドカッター等でコア抜きする場合、事前にX線撮影による躯体内の調査を行い配管等が埋設されていないことを確認のこと。

D. 凡 例

種別	記 등	材質	備考
給気ダクト	SA	亜鉛鉄板 JIS G 3302	
還気ダクト	—— RA ——	亜鉛鉄板 JIS G 3302	
外気ダクト	— OA —	亜鉛鉄板 JIS G 3302	
排気ダクト	— ЕА—	亜鉛鉄板 JIS G 3302	感染排気系統:ステンレス製ダク
排煙ダクト	SE	亜鉛鉄板 JIS G 3302	
吹出口	<b>⊠</b> ———	アルミ製(指定色焼付塗装)	VHS
吸込口	<u> </u>	アルミ製(指定色焼付塗装)	SR (S付)
排煙口		1.6t 以上の鋼板製	
風量調節ダンパー			
防火ダンパー	ØFD		排煙 280℃
モーターダンパー	Ø_MD		2000
逆流防止ダンパー	Ø_CD		
チャンバーボックス		グラスウール50 t 内張り JIS G 3302	
7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	
冷水管(往)	—-c—	一般配管用ステンレス鋼鋼管(拡管式)       JIS G 3448 SUS 304 TPD	654以上フランジ接続
冷水管(還)	— CR—	一般配管用ステンレス鋼鋼管(拡管式)         JIS G 3448 SUS 304 TPD	
温水管(往)	—н—	- 般配管用ステンレス網網管 (拡管式) JIS G 3448 SUS 304 TPD	
温水管(還)	— HR —	- 般配管用ステンレス鋼鋼管 (拡管式) JIS G 3448 SUS 304 TPD	65A以上フランジ接続
冷温水管(往)	— CH—	- 版配管用ステンレス銅銅管 (拡管式)	65A以上フランジ接続
冷温水管(遺)	— CHR —	- 版配管用ステンレス銅鋼管 (拡管式) JIS G 3448 SUS 304 TPD - 般配管用ステンレス銅鋼管 (拡管式) JIS G 3448 SUS 304 TPD	65A以上フランジ接続
	-# S -#-		STPG Sch-40
低圧蒸気管(往) 低圧蒸気管(還)	-# SR -#	圧力配管用炭素鋼鋼(黒)     JIS G 3454       配管用ステンレス鋼管     JIS G 3459       SUS 316 TP	50A以下: Sch-40 ねじ込み 65A以上: Sch-10S 溶接
冷却水	CW	配管用炭素銅鋼管 (SGP-白) JIS G 3452	水冷パッケージ用熱源水
空調ドレン管	D	配管用炭素鋼鋼管(SGP-白)	
冷媒管	—— R ——	冷媒用被覆銅管(保温厚:ガス管·液管共に20m/m)	メーカー標準品
給水管(飲料用)		水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(VA) JWWA K 116	
給水管(雑用水用)		水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(VA) JWWA K 116	
給湯管(往)	————	一般配管用ステンレス鋼鋼管 (拡管式) JIS G 3448 SUS 304 TPD	0000001 1 200000
給湯管(還)		一般配管用ステンレス鋼鋼管(拡管式)       JIS G 3448 SUS 304 TPD	60su以上: フランジ式
雑排水管		排水用硬質塩化ピニルライニング鋼管(DVLP) WSP 042	ピット内:硬質塩化ビニル管(VP
汚水管	<u> </u>	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管(DVLP) WSP 042	ピット内:硬質塩化ビニル管(VP
排水管(透析系統)	— AD —	耐熱性硬質塩化ビニル管(HIVP)	
	<u>//-</u>	WSP 032	
通気管		配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452	
スプリンクラー消火配管	— s —	配管用炭素鋼鋼管(白)(SGP-白) JIS G 3452	
連結送水管	— н —	圧力配管用炭素銅鋼管 (白) (SGP-白 Sch40) JIS G 3452	
	GV		
仕切弁	——₩ GV	JIS 10k 50A以下: BCねじ込型 65A以上: FCフランジ型	給湯·冷温水系統:ステンレス製
逆止弁		JIS 10k 50A以下:BCねじ込型 65A以上:FCフランジ型	給湯·冷温水系統:ステンレス製
バタフライ弁(蒸気往用)	—————————————————————————————————————	ステンレス鋳鋼弁(メタルタッチ)	65A以上:10k·16k
玉形弁 (蒸気往用)	—————GV	16k ダクタイル鋳鉄弁	50A以下: ねじ込み
自動工ア抜弁装置	<u> </u>		
フレキシブルジョイント	FJ FJ	ステンレス製	
ベローズ形伸縮継手(複式)	EXP.J(D)	ステンレス製	
給水栓	<u> </u>		
給湯栓	<b>X</b>		
混合栓	MC .		
洗浄栓(フラッシュバルブ)	•		
シャワー	<b>▲</b>		
床上バルブ止め	OS <sup>GV</sup> g <sup>dGV</sup>	FL+100 バルブ取付けの上プラグ止め	図示参照
床上ブラグ止め	⊗ ♂	FL+50 (排水トラップを設けること)	図示参照
床上掃除口	<b>——⊕</b> <sup>00A</sup>		
床下掃除口	——— 000		
	Ī		

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 一級建築士事務所		設	āt	者		件 名 横浜市立大学附属病院	10階レストラン跡地改修工事 (厨房エリア)	Job-No. 21095
東京都知事登録番号 第2215号 設計者 筒井和幸	担当者 川上香屋子 一級銀後士					図 名 特記仕様書-1・凡例		機械
一級建築士登録番号 第238709号 設備設計一級建築士	第297079号					縮尺一	日 付 2021/09 (令和3年)	M-O1
登録番号 第1428号	1	1	1	1	ı			•

伊藤喜三郎建築研究所



<ul><li>13. アンカーボルト</li></ul>	ト (1) 屋外設置機器のアンカーボルトナットはステンレス製とし、ナット部分に合成樹脂製キャップ をかぶせる		連結金具は外部取付とするか、SUS、テフロンセラミック等とする	● 7. 保温	標準仕様書第2編3.1.4によるほか、下記による  ● 外気ダクト (保温厚25mm)		● 4. 保温	保温材は、( ・ ロックウール ● グラスウール ) とする	(2.3.1.5)
及びキャップ	(2) 原則として、接着系アンカーボルトは使用しない	<ul><li>9. 配管材料</li></ul>	(1) 別紙凡例による (2.2.1.2)		居室天井内の保温仕様は、				(2.3.1.3)
	接着系アンカーボルトを使用する場合は、目視検査・接触検査・打音検査を全本数実施し、施工した全本数の0.5%以上または3本以上を対象として引張加力試験を行う		(2) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりポイラー等への補給水管は( )とする		( ※ グラスウール保温板25mm ・ ポリスチレンフ ・ 全熱交換ユニット用の ( ・ 外気ダクト ・ 給気		<ul><li>● 5. 貫通部処理</li></ul>	躯体貫通部は保温材にて埋め戻す。	
<ul><li>● 14. 振動伝播の防止</li></ul>	上 (1) 防振床 (浮床構造) 部分は振動伝播防止措置を行う	● 10. 弁類	JIS又はJV ( ● 5K ・ 10K ・ ) (2.2.2.1)(2.2.1.2) ● ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする		還気ダクト ・ 排気     多湿箇所のダクト (保温厚25mm)	ダクト(外壁より1.0m))(保温厚25mm	<ul><li>12.消火設備</li><li>1. 配管材料</li></ul>	別紙凡例による	(2.2.1.1) (2.2.1.2)
	(2) 周長1,0m以上のダクトは、振動伝播防止のため貫通部において実管スリーブを使用しない (3) ボンブに接続された給・排水管は、振動伝播防止のため防火区画等を貫通する場合は、(2.3.1.)	5) 11. 温度計	取付け部は下記による (2.2.3.2) (3.1.14.1.2)		<ul><li>湯沸室の排気ダクト</li></ul>	) と」 ・	● 2. 保温	屋外露出配管は標準仕様書第2編3.1.5、表2.3.5のe3・(/\)・Vによる保温を行う	(2.3.1.5)
	貫通する部分をロックウール保温材にて埋める	D) 11. 油及前	<ul><li>ボイラーの温水管(入口側)</li><li>(図-施工49)</li></ul>		ロックウール保温材(保温厚 ※ 50mm ・ ・ 厨房系統の排気ダクト	)とし、範囲は図示とする	● 2. 休/血	産外路山町自は保全山保書第2編3.13、教2.3.300kg、100・100・100・100 でによる保温を行うただし、防凍保温は2共通工事による	(2.3.1.3)
	(4) 保温不要ダクトの乾式壁貫通部分はロックウール保温材にて埋める		・ 温水発生機の温水管(出入口側) (図-施工51.52) ・ チリングユニット、冷凍機の冷水管(出入口側)及び冷却水管(出入口側) (図-施工49)		ロックウール保温材 (保温厚 ※ 50mm ・ ● 外壁面に開放するダクトの外壁より 1.0mの範囲 (保温)	)とする 温厚25mm)	3. 消火ポンプ	呼水タンクは ( ※ SUS製溶接 ・ ) とする	(5.1.2.8)
15. 運転状態の記録	様 竣工後2年間月毎の (・冷房負荷・暖房負荷・蒸気量 ・給水量 ・給湯量 ・ガス量) の記録を周年検査時に監理者に電子データ (※csvデータ ・xlsデータ )で提出する		直だき吸収冷温水機の冷温水管(出入口側)及び冷却水管(出入口側)     空気調和機の冷温水管(出入口側)		(チャンバー接続の場合の保温範囲は、チャンバー及 ・ MRIクエンチングパイプの保温は、標準仕様書第2編:		ユニット		
			<ul><li>空気調和機(パッケージ形含む)のサプライチャンバー、レタンダクト、</li></ul>		保温材は ( ・ ポリスチレンフォーム ・ ロッ		● 13.ガス設備		
● 16. 機器仕様	各機器の仕様は、( ※ 製造者標準 ● 標準仕様書 ・ ) とする ● 軒天を含む屋外に設置する機器はすべて重塩害仕様		外気取入ダクト及びレタンチャンバー <ul><li>・ 冷温水ヘッダー(往)及び冷温水ヘッダーの各返り管</li></ul>	6.排煙設備			● 1. ガス種別	<ul><li>● 都市ガス(種別:13A 発熱量:45,000kJ/m3(N) 供給業者名:東京ガス㈱)</li><li>・ 液化石油ガス</li></ul>	)
17. 機器基礎	各機器の基礎施工要領は、(・標準図施工25~29 ・図示 ・ )による		<ul><li>・ 熱交換器の冷温水管(出入口側)</li><li>(図-施工56,57)</li></ul>	1. ダクト	※ 亜鉛鉄板 • 普通鋼板(厚1.5mm以上)	(3.	2.2.5)  2. 配管材料	<ul><li>都市ガス ガス事業者の供給規定による</li></ul>	
	機器等の取扱い方法、定期点検項目及び系統図等を記載したアクリル樹脂製等の案内板を各機械室に	12. 圧力計	取付け部は下記による (2.2.3.1) <ul> <li>温水発生機の温水管(出入口側) 図-施工52.53</li> </ul>		<ul><li>・天井取付 (・スリット形 ・ パネル形 )</li><li>・壁取付 (・スリット形 ・ )</li></ul>	(3.1.	15.5)	・ 液化石油ガス 別紙凡例による	
18. 案内板	設置する		・ チリングユニット、冷凍機の冷水管(出入口側)及び冷却水管(出入口側) 図-施工50				● 3.メーター	<ul><li>・親メーター (・貸与品・)</li></ul>	
	案内板の大きさは、1 m程度とする			<ol> <li>排煙口手動 開放装置</li> </ol>	<ul><li>ワイヤー式</li><li>電気式 (遠隔操作 ・要 ・不要</li></ul>	)		<ul><li>・子メーター (・買取り ・ )</li><li>(・直読式 ・パルス式 )</li></ul>	
<ul><li>19. 既存設備との 取り合い</li></ul>	配管などの切替えまたは接続等で、既存設備を一時停止させる場合はその時期、工法等を監理者と協議を 行い、施設運営に支障を及ぼさない対応をする		<ul> <li>・ 熱交換器の冷温水管(出入口側) (図-施工56,57</li> <li>・ ポンプ(密閉回路は出入口側、開放回路は出口側) (図-施工55</li> </ul>	4. 排煙風量測定	建築設備定期検査業務指導書((財)日本建築設備安全センター	<ul><li>一)の排煙周景の絵本方法に維する</li></ul>	<ul><li>◆ 4. ガス漏れ警報器</li></ul>	<ul><li>※ 別途工事</li><li>・ 本工事</li><li>外部警報端子</li><li>・ 無</li><li>・ 有</li><li>)</li></ul>	
		13. 瞬間流量計			定本 取締 たんけん 正本 がから マー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7 の研究に関連の以上/3/以にデッセ	4 57 57 44 00 50 44	/ LOPIN TILDING J / /// FD /	
20. 気密施工	下記の各室に設ける機器、ダクト、配管、スイッチボックス等は、他室との空気流出入を防止するため、 シール材充填及び防護パッキン等を使用し、気密保持に必要な処理を行う	13. 瞬间流量計		<ul> <li>7.自動制御設備</li> <li>1. 中央監視制御装</li> </ul>	置・有 (・本工事 ・別途工事 ) ・無	<b>#</b>	<b>14.厨房機器設備</b> 1. 機器の寸法	概略寸法とする	
	( )		(・40A用 個 ・100A用 個 ・250A用 個 ) 付属とする       ・温水発生機の温水管(入口側)に (・固定形 ※ 善脱形 ) を設ける (図-施工52.53)	<ul> <li>2. 中央監視制御装</li> </ul>	置 図示による		2. 加熱方法	<ul><li>ガス ・電気 ・蒸気</li></ul>	
● 21. 遮音対策	遮音性能を要求する室の壁にスイッチボックス等を埋込む場合は、その裏面に遮音シートまたは鉛板等を 巻きつけ、遮音に必要な処理を行う			の構成・機能			3. 機器の固定	燃焼機器、加熱調理機器、高さが1,0mを越える機器及び下記に示す機器は、	(5.1,6.1)
			・ 直だき吸収冷温水機の冷温水管(出口側)及び冷却水管(出口側)に (図-施工51)	<ul><li>3. 電気計装工事の</li></ul>				床または壁にアンカーボルトで固定できるよう補強及び固定金具を備える。	(図-施工74)
22. 放射線防護刈束	策 放射線防護区画を貫通するダクト、配管、器具等を設置する場合は、貫通部に(一社)日本画像医療 システム工業会規格「X線防護工事 標準化マニュアル」による放射線防護処理を行う		( ・ 固定形 ※ 着脱形 ) を設ける ・ 空気調和機の冷温水管(入口又は出口側)( ・ 固定形 ※ 着脱形 )を設ける	配線	(2)屋外・屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配(3)天井内隠べいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配		1.5.1)	(	
	(適用範囲は図示による)		冷温水ヘッダーの ( ・ 各送り管 ・ 各返り管 ) に     ( ・ 固定形 ※ 着脱形 ) を設ける	8.衛生器具設備			<b>15.医療ガス設備</b> 供給ガス、	工事仕様は別紙図面による ・ 酸素 ・ 笑気 ・ 空気 ・ 非治療用空気 ・ 窒素 ・ 吸引	
23. 天井内漏水対策	第 高額医療機器等が設置される室の天井内には極力水配管の設置をさけること、やむを得ず設置する場合は 漏水対策を施す(対策方法、対象配管は図示による)	14. 油面制御装置	制御盤には、(・給油ボンブ制御・返油ボンブ制御・電磁弁制御・満油警報 (2.2.3.5)	<ul><li>● 1. 衛生陶器</li></ul>	衛生陶器の付属品および水栓、洗浄弁、洗浄管等の見え掛りき (※ニッケルークロムメッキ仕上げ・ステンレス製		設備名称	・ 炭酸ガス ・ 混合ガス ・ 余剰麻酔ガス排出設備	
	調が対象を(対象が対象を(対象を)が対象を()	. 寸. 心田印伊衣造	<ul> <li>減油警報</li> <li>・ 遠隔警報</li> <li>・ の端子を設ける</li> </ul>				2. 配管材料	別紙図面による	(11.2.1.3)
● 3.共通関連工事			なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする	2. 小便器用節水装置	<ul><li>個別感知フラッシュ方式 ( ※ 内蔵 ・ 埋込 ・ 集合感知フラッシュ方式 ( ・ 隠ぺい ・ 露出</li></ul>	• 露出 ) )	3. 超低温液化ガス	設置形式 (・定置式 ・可搬式 ) (1	11.2.1.1) (11.2.1.2)
<ul><li>● 1. 足場・ 作業構台の類</li></ul>	<ul><li>※ 別契約の関係受注者の定置する足場、作業構合の類は、無償で使用できる (2.4.1.1(ア)</li><li>● 本工事で設置する</li></ul>	<ol> <li>15. 遠隔油量指示計</li> </ol>	遠隔油量指示計 ( ・ 抵抗変化式液面計 ・ 磁歪式液面計 ) (2.2.3.6)     副指示計 ( ・ 有り ・ 無し )	3. 水石けん入れ	<ul> <li>陶器取付形</li> <li>・ 堕取付形</li> <li>・ カウンター取付形</li> </ul>	(5.1.	供給装置 1.11)	(・別途工事・本工事 )	
	建築工事改修標準仕様書(2.3.1(2))によるほか下記による。 取付け箇所は図示による     内部仮設足場等 (・ 種 ・ 種 )	16. 絶縁フランジ	図示の箇所に取付ける		・自動供給式 (・有・無 )		4. マニフォールド	ボンベ ( ※ 別途工事 ・ 本工事 ) ボンベの転倒防止は標準図に準拠する。 ただし、 鎖は2本掛けとする	(11.2.1.1.4) (図-施工73)
	・ 外部仮設足場等 ( ・ 種 ・ 種 )	<ul><li>● 17. 保温及び消音</li></ul>	標準仕様書第2編3.1.4によるほか、下記による	● 4. 自動水栓	電源供給方式 ( ※ 電気式 ・ 電池式 ・ 発電式 手動スイッチ ( ・ 有 ● 無 )	) (5.	1.1.7)	標準図 ( ・ (a) ・ (b) )による	
● 2. 監理者事務所	※ 設ける(建築工事に含む) ・ 設けない ・ 単独で設ける (2.4.1. 郷) 監理者事務所の規模		● 遠気ダクトの保温 (保温厚25mm)  ● 外気ダクトの保温 (保温厚25mm)	5 -1.40		+-7	5. 吸引装置	吸引ポンプ ( ・ 水封ロータリー式 ・ 油回転式 )	(11.2.1.1.6)
(「建架相記は水面」を飛	<ul> <li>10㎡程度 ・ 20㎡程度 ・ 35㎡程度 ・ 65㎡程度 ・ 100㎡程度 ・ ㎡程度</li> </ul>	ŧ	居室天井内の保温仕様は、	5. 水栓	厨房機器に設置する水栓は ・ 本工事 ・ 別途工事 )と		6. 麻酔ガス	麻酔ガス排除装置	
	監理者事務所の仕上げ ・ 受注者事務所同程度 ・		( ※ グラスウール保温板25mm ・ ボリスチレンフォーム保温板50mm) とする。 ・ 膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による	6. 和風大便器の 防火区画貫通処3	※ 標準図施工65,66による(ピット内は除く) 里	(5.	2.1.1) 排除装置	(・エジェクタ方式・・吸引方式 (・プロワ・吸引ボンブ))	(11.2.1.1.7)
	監理者事務所の備品 備品は、建築工事標準仕様書(2.3.1(b))によるほか、下記の物を備える		<ul> <li>建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による</li> <li>トレン管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による</li> </ul>	● 7. 止水栓	( ● 洗面器 ● 手洗器 ● 流し台(台付水栓) •	)	7. アウトレット	治療用ガスと吸引のガス別特定方式は ・ ピン方式 ・ シュレーダ方式 )とする	(11.2.1.2.1)
	<ul><li>・ 外線電話機</li><li>・ ファクシミリ・ コピー機( ・ A3カラー ・ A1モノクロ )</li><li>・ パーソナルコンピューター( )</li></ul>		<ul> <li>年間運転系統冷却水管の屋外露出部、操作盤や電子機器の上部を通過する部分の保温は、 標準仕様書第2編3.1.5の給水管の項による</li> </ul>	<ul><li>● 8. シールする器具</li></ul>	※ 手術用手洗器と壁間		8. 接地工事	屋外及び別の建物から配管を導入する場合は導入部になるべく近い場所で、配管に対して 第D種接地工事を行う	(11.2.2.2.7)
	<ul><li>・ プリンター ( )</li><li>・ デジタルカメラ ( ※ 300万画素以上 ・ )</li></ul>		<ul><li>蒸気管の放熱器廻り配管、各種装置廻り配管及び伸縮管継手の保温</li><li>蒸気運管の保温</li></ul>		● 壁掛け洗面器と壁間 ● アンダーカウンター洗面器と洗面カウンター		9. 既存配管設備の		は (11.2.3.1)
	<ul><li>安全靴 ・上ばき ・ 防寒服 ・ 帽子 ・ ヘルメット</li></ul>		<ul><li>蒸気弁類の保温(ヘッダー廻りはジャケットとする)</li></ul>		● 洗面化粧台と壁間		変更	監理者と協議を行う	(11.2.0.17
	<ul><li>その他( )</li><li>連絡員 ※ おかない ・ おく</li></ul>		<ul> <li>高圧(0.1MPa以上)の蒸気管及び蒸気ヘッダーの保温厚は下記による 15A~20A 30mm 、25A~50A 40mm 、65A~100A 50mm</li> </ul>	<ul><li>9. 温水洗浄便座</li></ul>	加熱方式 ( ● 貯湯式 ・ 瞬間式 ・ ) 付	加機能は図示による (5.	1.1.2)	(2)工事中の仮設供給 (・ 有り ・ 無し ) 仮設供給の方法は図示による	
● 3. 工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できない ● 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 )		125A~200A 65mm 、250A~300A 75mm ・ 高温水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の蒸気管(低圧の蒸気)の項による	<ul><li>● 9.給水設備</li><li>● 1. 配管材料</li></ul>	(1) 別紙凡例による	(2.2.1.1)(2.	2.1.2) ● 16.撤去工事		
<ul><li>4. 工事用電力</li></ul>	構内既存の施設 ※ 利用できない ● 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 )		<ul><li>● 冷温水、蒸気管の保温材は、( ● グラスウール ・ ロックウール ) とする</li><li>・ 冷媒管の保温外装は、( ・ ステンレス鍋板 ・ 保温化粧ケース ) とする</li></ul>		(2) 水道直結配管 ・ 引き込みは水道事業者の指定により、 ( ・ 塩ビライニング銅管 (VD)		<ul><li>● 1. 撤去内容</li></ul>	※ 撤去内容は図示による	
<ul><li>● 5. 工事用仮設物</li></ul>	構内につくることが ( ● できる ・ できない )		保温化粧ケースの材質は、 ( ・ 硬質ポリ塩化ビニル樹脂 ・ 塩化ビニル樹脂 ・ 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム系合金めっき鍋板 ) とする		とし、他の部分は(1) による		● 2. 保温材	保温材は配管、ダクト等より分離する	
6. 建設発生土の		1)	機器類の保温外装は、( ・ カラー亜鉛鉄板	2. 量水器	<ul><li>・親メーター (・貸与品・</li><li>・子メーター (・買取り・</li></ul>	)	<ul><li>3. 支持金物等</li></ul>	ダクト及び配管等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する	
処分	・ 構外搬出適切処理( km以内) ・ 構内指示の場所にたい積 ・ 構内指示の場所に敷き均し		<ul><li>保温を行う機器(</li></ul>		(・直読式 ・パルス式 )	,	● 4. 産業廃棄物等	(1) 産業廃棄物の処理は、収集から最終処分までをマニフェスト交付を経て適正に処理する	
7. 埋め戻し土・	・ 根切り土の中の良質土(ただし、コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) (2.4.2.	● 18. 冷媒管 1)	冷媒管の区画資通処理は、国土交通大臣認定工法とする 冷媒管の立管の中間部固定を、( ・ 行う ※ 行わない )	3. 量水器桝	・ 水道事業者指定品 ( ・ 貸与品 ・ 買取り	) (5.	1.8.4)	(2) 特別管理産業廃棄物は、1.一般共通事項による (3) 冷媒の回収方法及び放出を防止する措置は、業務用冷凍空調機器(第1種特定製品)は、	
盛土	<ul><li>山砂の類</li></ul>	19. ダクトのシール	HEPAフィルターを設置している給気、還気系統		• 標準図MC形			特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保に関する法律(平成13年法律第6 定めに従って行う。特定家庭用機器再商品化法(平成10年法律第97号)の対象となるも	
<ul> <li>4.空気調和設備</li> <li>1. 設計温湿度</li> </ul>	屋外(横浜) 屋内(鵝鞚目標値)		シール種別 (・N ・A ・B ・C ) (図-施工45.46)	● 4. 弁類	リIS又はJV ・ 水道直結部分 ( ※ 10K ● その他の部分 ( ・ 5K	• ) (2:	2.2.1)	同法の定めに従って行う (4) オイルタンク、オイルサービスタンク、油管等の廃油は、関係法令に従い、専門業者(	話に (改修1.512)
	一般系統         24時間系統         一般系統         病壁・検査室系が           温度         湿度		空気清浄度クラス7 (JIS-B-9920) [旧・クラス10,000] 以上の系統は取付け前にダクト内面を清掃する系統名()		<ul><li>● ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とす</li></ul>			より適正に処理する (5) 吸収冷凍機、吸収冷温水機等の臭化リチウム水溶液等は、関係法令に従い、専門業者	
	Table   Ta	5	空調機器のフィルター予備は、各形番台数の ( ※ 機器表参照 • 100% • 50% ) とする	5. 緊急遮断弁装置	遮断弁の駆動方式は ( ・ 電気式 ・ 機械式) とし設置(	位置は図示による		適正に処理する (6)冷凍機用プライン液は、関係法令に従い、専門業者により適正に処理する	
O Harris	3.4 2.4 3 4 3 4 3 4 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		空間機器のフィルターか開る。各形都合数の ( ※ 機器表参照 ・ 100% ・ 50% ) と 9 る (HEPAフィルターは含まない)	6. 水栓柱	<ul><li>・ アルミニウム合金製 ・ ステンレス製 ・</li></ul>			(6) 冷凍機用ノフイン液は、関係法节に促い、等門業者により適正に処理する (7) 泡消火設備の薬剤及び水溶液は、関係法令に従い、専門業者により適正に処理する	
2. ばいじん量 測定口	測定口は80か以上とし、各機器ごとに取付ける (3.1.1.	● 5.換気設備		7. 管の地中埋設	埋設深さ(管の上端深さ)は原則として、車両部分は、(			撤去部にアスベスト、鉛等の有害物質を含む材料が使用されている場合は、監理者と協議	義の (改修1.4.2.1)
3. 煙道	鋼板厚 (・3.2㎜ ・4.5㎜ ) (3.1.1.	● 1.ダクト 3)	<ul><li>● 低圧ダクト</li><li>● 長方形ダクト ・ アングルフランジ工法</li></ul>		その他の部分は、( • 300mm • mm ) 以上とする		含む撤去	うえ関係法令、都道府県条例等に基づき適正に処理する。対象物質は下記による 対象物質( )	
● 4. ダクト	<ul><li>・低圧ダクト (3.1.14.)</li></ul>	1)	● コーナーボルト ( ● 共板フランジ ・ スライドオンフランジ ) 工法 ● スパイラルダクト ● 差込み接合 ・ フランジ接合	● 8. 保温	保温材は、( ・ ロックウール ● グラスウール ・ オ ・ ステンレス鋼板製タンクの保温 ・ 要 ・ 否 )		3.1.5) <b>● 17.設備機材等の</b>		
	<ul> <li>長方形ダクト ・ アングルフランジ工法</li> <li>■ コーナーボルト ( ● 共板フランジ ・ スライドオンフランジ ) 工法</li> </ul>		<ul><li>高圧1ダクト(適用範囲は図示による)</li><li>高圧2ダクト(適用範囲は図示による)</li></ul>	● 10.排水設備			<b>選定</b> <ul> <li>● 1. 製造者の選定</li> </ul>	製造者については、原則として下記の選定表に該当する製造者を採用し、受注者が任意に	こ選定することが
	<ul> <li>▼ スパイラルダクト</li> <li>● 差込み接合</li> <li>・ フランジ接合</li> <li>・ 高圧1ダクト(適用範囲は図示による)</li> </ul>		・ 厨房系統の長万形球型グラトは (・ 亜鉛鉄板 ・ ステンレス鋼板 ・ 溶融アルミニウム-亜鉛鉄板) 製とし、標準仕様書より一番手厚いものを使用する		別紙凡例による	(2.2.1.1)(2.3		できるが、監理者に事前に承諾を得ること	
	・ 高圧 2 ダクト (適用範囲は図示による)			<ul><li>● 2. 洗面器等の</li></ul>	洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより1 *		● 2. 設備機材等	品目機材名製造者等	
<ul><li>● 5. 風量測定□</li></ul>	<ul> <li>● 送風機吐出ダクト</li> <li>● 空気調和機給気ダクト</li> <li>・ 外気ダクト</li> <li>・ 図示による</li> <li>(3.1.14.1</li> </ul>	1) 2. 風量測定口	<ul> <li>・送風機吐出ダクト</li> <li>・外気ダクト</li> <li>・図示による</li> <li>(3.1.14.11)</li> </ul>	排水管	台所流し等の床上部分の配管は、硬質塩化ビニル管でもよい		選定表	パッケージ型空調機 東芝	
	<ul><li>● ファンコイルユニット、パッケージ形空気調和機に接続する給気ダクト</li></ul>		• ファンコイルユニット、パッケージ形空気調和機に接続する外気ダクト • 備品機器類用ダクト	3. 満水試験継手	3階以上にわたる汚水排水立て管には、各階ごとに満水試験組			パナソニックエコシステムズ( 三菱電機住環境システムズ(株)	<del>‡</del> )
<ul><li>● 6. チャンバー</li></ul>	<ul><li>(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す</li><li>(2) 空気調和機に取付けるサプライチャンバー及びレタンチャンバーで消音内貼りしたチャンバー(3.1.14.</li></ul>		空気調和設備の当該項目による	● 4. 保温	保温材は、( ・ ロックウール ● グラスウール ・ オ	ポリスチレンフォーム )とする (2)	3.1.5)	送風機類 糊荏原製作所 ㈱ラ	テラル
	には点検口を設ける。大きさは図示による (3) 外壁に面するガラリに直接取付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する.1.15.	4. ダクトのシール	・多湿箇所の排気ダクト シール種別 (※N ※A ※B ・C) (図-施工45.46 水抜管を (※設ける ・設けない) (3.22.1)		<ul> <li>高温排水管の保温は、標準仕様書表2.3.2の蒸気管(低圧)</li> <li>保温材は、(・ロックウール ・グラスウール )</li> </ul>				エアテック(株) 光産業(株)
7 0mH C 22.7508 '3			<ul><li>特殊排気ダクト シール種別 (・N・A・B・C) 図-施工45、46</li></ul>		is an included and			自動制御設備 ジョンソンコントロールズ㈱	<b>‡</b> )
● 7. 吹出し及び吸込	△ ボックスの材質は(※ 亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製 )とする (3.1.14:)		<ul> <li>シール種別 (・N ・A ・B ・C) (図-施工45,46)</li> </ul>	<ul><li>1.船廠設備</li><li>1.配管材料</li></ul>	別紙凡例による	(2.2.1.1) (2.3	2.1.2)	衛生器具 (㈱L I X I L TOT	ナソニック電工(株) TO(株)
8. ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔・) (3.1.15.	● 5. チャンバー 3)	空気調和設備の当該項目による	● 2. 絶縁フランジ	図示の箇所に取付ける			医療ガス設備 (㈱AMC エア	山熱器(株) マ・ウォーター防災(株)
	定格入力はDC24V、0.7A以下とする (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※ 適隔 ・ ) (3.1.15.1)		空気調和設備の当該項目による	● 3. 弁類	JIS又はJV ( ● 5K • 10K )		2.2.1)	消火設備 ニッタン㈱ 日本	2ントラルユニ ドドライケミカル(株)
	(3) 外気取入系統に設置するダンパーの軸・軸受はSUS、テフロンセラミック等とする				<ul> <li>ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とす</li> </ul>			横浜市立大学附属病院10階レストラン跡地改修	- チキ㈱  修工事   Job-No.
7 1						会社 伊藤喜三郎建築研究所 建築士事務所 担	設 5者	[厨房工	[リア] 21095
<b>y</b> ,	· 1					一級	5屋子 #楽士 079号	図名 特記仕様書一3 (平成31年版)	機械
<i> </i>					——級	記 日 同 升 和 辛 <u> </u>		縮尺 — 日付 2021/09 (令和3年	年) M-O3
						登録番号 第1428号		伊藤喜三郎建築研9	

*** *** ******************************	工 事	建電	衛空昇		別備考	工事	建電	衛空昇	別備考		工事	建電衛	空昇略		別備考		工事	建電衛	空昇	別	備考
Section   Column	項目	築気	生調機		途	項目	築 気	生調機	途		項目	築 気 生 詰	問機		途		項目	築 気 生	調機	途	NH S
1.	負担金(工事用以外のもの)					ボ ALCパネル等を貫通する配管配線の穴明け	* *	* * *	<ul> <li>各工事別とする</li> </ul>	制	空調用自動制御機器	· · · ;	· ·		•	7	点検口(床、天井、シャフト等)	*			
1	イ. 電気引込				*	P C板を貫通する配管配線の穴明け	* •		•	TD U			* ·		•		外壁取付がらり(防虫網共)	* • •			
A Company					*		* •			1154	同上電源供給	* * .			•	0)	同上ダンパ(FD)	*			
The content of the					*	壁、天井ボード類の切込み	* •	• • •	・ 位置出しは各工事別とする							他		* • •			
Manual Content	二. ガス引込				*	週 既製間仕切壁等の切込み及び補強	* •					* * •	•		•				* •		
March   Marc	引渡しまでの各種料金(基本料金、使用料金共)					- 月						. *	•		•			*			
The content of the												. *	•		•					*	
						GP .						* * .			•					*	
March   Marc				+		70	* *	* * .	<ul> <li>各工事別とする</li> </ul>			* * .	•   •		•			*	• •		
Part			* * *		<ul><li>各工事別とする</li></ul>	サ吊 l ボ				-			* *		•			* • •		-   •	
## Provided State   1		)) • •			*	トルト					ト. 搬送		.   .		<ul><li>搬送工事とする</li></ul>			*		-   .	
Mathematical   Math	電波受信障害調査費及び対策工事費				*	Taken to a present			0.4.1.565	-								*		•	
Manufact						裕	^~		・ インサートを含む											*	
Section   Sect	88票 (中)体	* .				排	-			-	タ 生山(如命い)寺 七年で17.7 *12.1元生山(如		v .					*		-     •	配管形線の接続け雪
March   Marc						76	* .					. ×	* •					*			
Methodology								*									日勤にア	*			一次関电源供配は电対
			++							1			× .					+		+	
Section	17t ±	- x	+++			海化蛐	_		- - - - - - - - - - - - - -	1			× .				蒸密水製汽车置			3**	
March   Marc	ゴミ集結所	* .				11.9	*			1	30/2011	, , ,				医				*	
Manufacture					<ul> <li>焼却炉本休乃7%据付け衛生工事</li> </ul>	設		*		1			+			療				*	
Mathematical Control of the Contro		w .	<i>~</i>		アルルグ・ヤード (1011年) 日本 (1011年)	備	+		MIX. 7.7.7.2.60	1		+++	++			機				**	
*** **********************************		* .	-   .   .				+			$\vdash$	エレベーター三方枠、葉板		* *							**	
Mathematical   Math			.   *   .				+			昇		*	.   .							**	
# Management				+++	1.	自家発電機用排気筒(構引)	. *			跭			.   .   -			÷			<del>                                      </del>	**	
Minimate		* .				46	. *			機		*								*	
無理性		* .				<b>気</b>							* *		- 昇降路内の配管配線は			*			
### Part		* .					. *					. * .			昇降機工事			* • •			一次側電源供給は電
Mathematical Control of the control		* .				自家発電機用給油設備		. * .	<ul><li>サービスタンクより発電機まで</li></ul>			*								*	
MATINGAL PROPERTY OF A PROPE								. * .	<ul><li>の配官は電気工事</li></ul>			. * .								*	
Martin   M								. * .					* *							*	
Manufal   Manu	<b>雑用受水槽</b>	* .			<ul><li>点棒口、タラップを含む</li></ul>		. *						*							*	
### Minimary 1						電動シャッター、自動扉の操作盤、	* .				5.55.55.55.55.55.55.55.55.55.55.55.55.5									*	
### Management   1		* .						*												*	
2009 - 1		* .					. *													*	
2009年8月19日 2019年8月19日 2019年8月19	コンクリート槽の釜場	* .							*											*	
200   1		* .							*									. * .			
2000-2000-2000-2000-2000-2000-2000-200	コンクリート躯体桝	* .				スタジオ用関係機器			*								手術室、分娩室の壁埋込医療機器	*			壁切込み開口補強は強
	コンクリート製グリーストラップ	* .							*								手術室、分娩室の無影灯			*	埋込ベースプレートに
Part	<b></b> 既製グリーストラップ		*			ページング装置(携帯用受信機共)			*	00	造作流し(排水トラップ付)	* • •			<ul> <li>水栓、配管接続は衛生工事</li> </ul>		手術室、分娩室のシーリングコラム			*	埋込ベースプレートに
特別の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	コンクリート製ガソリントラップ	* .				電話交換装置			*	66		* • •			<ul> <li>水栓、配管接続は衛生工事</li> </ul>		バイオクリーンルーム(CLASS )			*	
Main Proper	ドライエリア、サービスコートの排水溝及び泥溜材	舛 ※ ・								具	: 陶製流し(排水トラップ付)	*					シールド室内装				
### 14   1   1   1   1   1   1   1   1   1	駐車場、スローブ等の排水溝及び泥溜桝										洗面化粧台(既製品)	*					放射線シールド	* • •			
解析したすらればはない	屋内排水溝及び蓋	* .										*			<ul><li>器具、水栓、配管接続は 衛生丁事</li></ul>		電磁波シールド	*			
2000   1480L   1580	各種トレンチピット及び点検口	* .									洗面器一体型カウンター (排水トラップ付、取付を含む)	*					電波シールド	*			但し、室内置型のもの
の関係の関係性質性があるが、												* • •			•		防音室内装	*			但し、室内置型のも
四月神経が見に強性に対しているからの   日   1   1   1   1   1   1   1   1   1						防火戸					同上水栓目皿、排水トラップ及び配管接続	*			•		エアーシャワー			*	
# 2.00 (	屋内設備の基礎(建築図にあるもの)	* .				,,,,	* •				ユニットバス本体及び据付	* • •			<ul> <li>配管配線の接続は各設備工事</li> </ul>		パスポックス			*	
無限的の選集(学生、アンカーボルトを除く) 型 ・ 0 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1	屋内設備の基礎(建築図にないもの)	• *	* * *	:	<ul><li>各工事別とする</li></ul>	火 ロ. 連動制御装置、煙感知器の取付及配線	. *		•	]	浴槽(フタ付)本体及び据付	*			<ul> <li>配管配線の接続は各設備工事</li> </ul>		X線室 天井走行レール			*	埋込ベースプレート
振動性が変数があった。	屋上設備の基礎(架台、アンカーボルトを除く)	* .				防火シャッター					ユニットシャワー本体及び据付	*	.   -		<ul> <li>配管配線の接続は各設備工事</li> </ul>		点滴レール	*			
機能性、関係等の後間神経に対したシリート 8 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・	屋外設備の基礎(架台、アンカーボルトを除く)		$\cdot   \cdot  $			イ. シャッター閉鎖装置	* •		•		鏡	*	·   · [		•		点滴フック	* .			
語語を、語音を呼吸を呼吸を呼吸を呼吸を呼吸を使います。	機器取付け架台、アンカーボルト	• *	* * *		・各工事別とする	口. 連動制御装置、煙感知器	*		-		七粧棚	* •	$\cdot \mid \cdot \mid \Box$		•						
	機械室、厨房等の配管用増打コンクリート	* •	$\cdot   \cdot  $			防煙垂れ壁					厨房器具		$\cdot \mid \cdot \mid \Box$		※ 撤去は本工事					*	
無機機制用アルテーボルト及び無物の関情 常 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中	各種設備機器設置のための吊フック	* .				イ. 防煙垂れ壁閉鎖装置	* •		•		厨房用プレハブ冷蔵室、冷凍室		$\cdot   \cdot  $		*					*	
議機制所属限及付比上						口. 連動制御装置、煙感知器	*		-		システムキッチン	* •	$\cdot \mid \cdot \mid \Box$		<ul> <li>配管配線の接続は各設備工事</li> </ul>						
議機制所属限及付比上	医療機器用アンカーボルト及び金物の取付	* •	$\cdot   \cdot  $		※ 図示あるものは建築工事	防煙ダンパー					ミニキッチン	*	·   · [		<ul> <li>配管配線の接続は各設備工事</li> </ul>		各種医療機器一次側配管立上り、立下り (バルブ止め)	*	* .		
□ 連動制製造、煙色別態 ・ ※ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	医療機器用基礎及び仕上	* .			※ 図示あるものは建築工事	イ. ダンパー閉鎖装置(SFD)	·   •	. * .					·   •   _					*	•   •		
接触の側面スリーブ ※ * * * * * * * * * * * * * * * * * *						口. 連動制御装置、煙感知器	•   *					*	·   •   _		<ul><li>・ 据付及び二次側配管共 一次側電源供給は電気工事</li></ul>		同上電源、手元スイッチ	·   *   ·			
関連のスリーブ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※				$\bot \downarrow \downarrow$		排煙口(機械排煙)	$\perp \!\!\! \perp \!\!\! \perp \!\!\! \perp$				各種自動販売機		.   .		※ 据付及び二次側配管共		一次側ダクト立下り(ダンパー止め)		* .	•	
開口部の型性 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	鉄骨部の鋼管スリーブ				•				• Verified the 10 - 100 CO 1			*	.   .		•						
開口部の型枠 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	貫通穴のスリーブ						_		<ul><li>・ 退帰採作及び開閉表示は 電気工事</li></ul>	1		;	<b>*</b> •		•				•   •	*	
貫通孔・開口部の墨出し     ※	開口部の型枠	*   *	* * *		<ul><li>各工事別とする</li></ul>				*			* •	.   .		•		同上二次側配管、配線、ダクト		•   •	*	
<b>貴通</b> 穴のスリープ空腺及び予備費通穴の充填 ※ ※ ※ ※	上記3行の補強				•	電気錠	* •		<ul><li>一次側電源供給は電気工事</li></ul>	1		* • •	.   .		※ 壁埋込型は建築工事				•   •	*	1
外壁質道スリープの防水 ※ ※ ※ ※	貫通孔・開口部の墨出し						$\perp \!\!\! \perp \!\!\! \perp$			1			-   -		*					*	
同上二次側配管、配線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	貫通穴のスリーブ空隙及び予備貫通穴の充填						$\perp$			-	壁掛大便器取付スタンド	*	1.		•				•   •	*	
	外壁貫通スリーブの防水	* *	* * *		<ul><li>各工事別とする</li></ul>					1		$\bot$							•   •	*	
										1		$\bot \bot \bot$					同上二次側配管、配線		•   •	*	
															<u> </u>			7441		10000	- 5 .04
(注)表中の●印を付したものを適用し、各工事負担とする。  (殿房エリア ・ 「					各工事負担とする。								東京	左本 ユ 尹 務 第知事登録	所 番号 第2215号 担当者 川上香屋:	. [ _	N 4	8 工事区	— <u>——</u> 分丰		

●の付かない場合は、※印付いたものを適用し、各工事負担とする。●印と◎印の付いた場合は、共に適用し、各工事負担とする。

東京都河事登録借号 第2215号 設計者 筒井和幸 一般建築土登録番号 第238709号 設備設計一級建築土 登録番号 第1428号 縮尺 - 日付 2021/09 (令和3年) M-04 伊藤喜三郎建築研究所

		設置場	所 -			電動機 (50	Hz)				遠方			
機器 番号	機器名称 (系統名)	階	室名	台数	機 器 仕 様	動力	相	電圧	始動方式	非常電源	発停	状態	警報	信考
						[kW]	[ø]	[v]		,				
ADA 1002	パッケージ型空調機	10	機械室	1	空冷ヒートポンプ式パッケージ型									
(既設)	(10階 食堂系統)	10	100年	+ '	送風量(屋内) 9,900 m3/h	3,7	3	200						
( Max /	(10個 長圭尔帆)				送風量(屋外)	0.4x2	3	200						
					応用車 ( 全 개 )	0.772	Ť	200						
				+	加熱能力 23000 kcal/h									
				+	加湿能力 18 Kg/h (蒸気 2 Kg/cm2)								$\dashv$	
					圧縮機	7.5x2	3	200						
					オイルヒーター	0.06x2	3	200						
					フィルター プレフィルター									
					付属品 他懷準付属品一式									
APA-1003	パッケージ型空調機	10	機械室	1	空冷ヒートポンプ式パッケージ型									
(既設)	(10階 食堂系統)				送風量(屋内) 8,700 m3/h	3.7	3	200						
					送風量(屋外)	0.4x2	3	200						
					冷却能力 45000 kcal/h									
					加熱能力 23000 kcal/h									
					加湿能力									
					圧縮機	7.5x2	3	200						
					オイルヒーター	0.06x2	3	200						
					フィルタ〜 プレフィルタ〜									
					付属品 他標準付属品一式									

		設置場	<b>段置場所</b>					電動機 (50Hz	:)				遠方			
機器 番号	機器名称(系統名)	階	室名	台数		機器仕様		動力	相	電圧	始動方式	非常電源	発停	状態	警報	備考
								[kW]	[ø]	[V]						
		_														
	パッケージ型外調機	10	機械室	1	空冷ヒートポンプ式パッケージ型											
(既設)	(10階 厨房系統)				送風量(屋内)	11,600 m3/h		0.655x2	3	200						
					送風量(屋外)											
					冷却能力	112.0 kW		34.2	3	200						
					加熱能力	106.0 kW		27.8	3	200						
					加湿能力	23.2 Kg/h										
					圧縮機			12.8x2	3	200						
					クランクケースヒータ			0.12x2	3	200						
					付属品	他標準付属品一式										
		_														
FC-K4	ファンコイルユニット	10	事務室	1	型式	天吊力セット型		0.067	1	100						
(既設)	(10階 事務所系統)	+ -			冷却能力	3,155 m3/h										
					加熱能力	4615 kcal/h	(顕熱2375kcal/h)									
		+		+	冷温水量	12.0 I/min	(7℃-12℃,55℃-50℃				$\vdash$	$\vdash$				
				-	フィルター	プレフィルター	170 120,000-000	1	-							
		+		+	付属品	・ クレフィルフ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$			
		-			ט מפא ניו	地球华州周00一五					-					

			機器仕様				TÚ	が機(50Hz)	)				インターロック・連動		遠方			防	i振装置 設置	場所	
機器番号	機器名称	系統名	台数 型式	消音ボック	番手	風量		助力相		起動方法	非常電源		連動機器	操作発停	発停	状態	警報	S: 7	ゴム スプリング ゴムパッド	室名	備考
				2		[m3/h]	[Pa] [	kW] [φ	] [v]									P: -	ואפועבנ		
F – 1068 – 1	排風機	10階 統計会議室	2 天井扇(24時間換気機能付)	天吊	150 ø	225	200 0.	.074 1	100	L-S									G 1	<b>統計会議室</b>	VD-23ZLX12-CS(三菱電機)(参考)
(新設)																					
EF - 1068 - 2	排風機	10階 データ分析室	1 天井扇(24時間換気機能付)	天吊	150 ø	250	200 0.	.074 1	100	L-S									G 1	データ分析室	VD-23ZLX12-CS (三菱電機) (参考)
(新設)										1											
										1											
F - 1004	排風機	10階 食堂	1 片吸込トシロッコファン	床置	3	9,700	220	3.7 3	200	L-S	_	_		-				_	S 1	機械室	
(既設)								-	-							+					
EF – 1044	排風機	10階 食堂他	1 片吸込トシロッコファン	床置	2.5	7,800	140	3.7 3	200	L-S	_	_		-				+	6 1	) 機械室	
(既設)	肝風候	IUNG REIN			2.5	7,000	140 .	3.7 3	200	L-2									S 1	ノ 候機至	
(Max)				-						1											
F - 1046	排風機	10階 男子便所・女子便所	1 片吸込トシロッコファン	床置	1.25	1,100	110	0.2 3	200	L-S	_			+				+	S 1	) 機械室	
(既設)	777.200 000	100 277 677 27 677	. // **********************************		1.20	1,100	,,,,	0.2	1 200	1 -										- Name -	
\$[///4/////8036///		/10吨/南京	X 特赖达州沙约·沙西河南沙	//////////////////////////////////////	X//\$///	///2,800	///310	5,5///3/	/200/	XX48/X				X////					/\$/////	機械室	
(京) /- / / / / / / / / / / / / / / / / / /					<b>X</b> /////	<b>*</b> /////			<b>X</b> ////	<b>X</b>				X///							X
					1			~~~	1	1		1		T***		1					
\$//////////////////////////////////////	#專機////////////////////////////////////	/10階/音房///////////////////////////////////	片與於下沙口少五才多少	<b>////////////////////////////////////</b>	1/45//	3,900	200	175//3	200	XX-58/X									/\$///\\	機械室////////////////////////////////////	
//////////////////////////////////////		X/////////////////////////////////////	<b>大阪公</b> 子/30/1/3/1/3/1		X				X////					X///		*///				X/////////////////////////////////////	
					1																
2			•																		
1 機器仕様及び記載のない	村属品は国土交通省標準仕様とす	ra.		5 表中の	能力は、必要能	能力とする。															

7 風量は強モード時の値とする。

8 24時間換気機能付の機器には24時間換気対応スイッチを付属する。

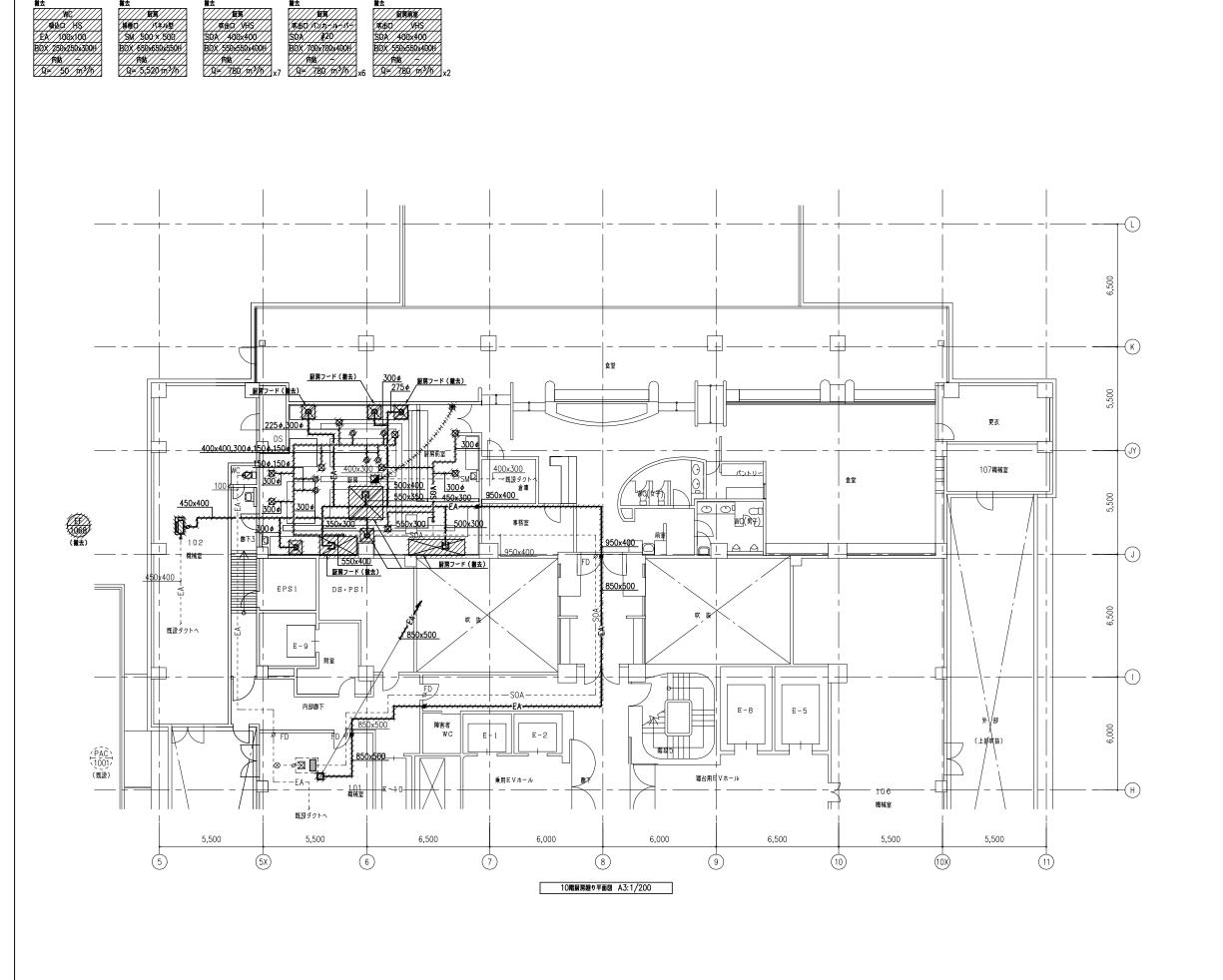
	1
7	_
	4

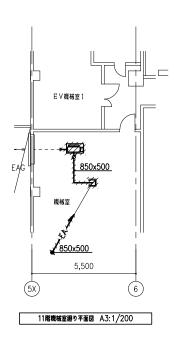
3 連動制御は自動制御工事とする。

4 試験規格は電動機出力:JIS B 8330 (片吸込みシロッコファン)、消費電力:JIS C 9603 (ストレートシロッコファン)

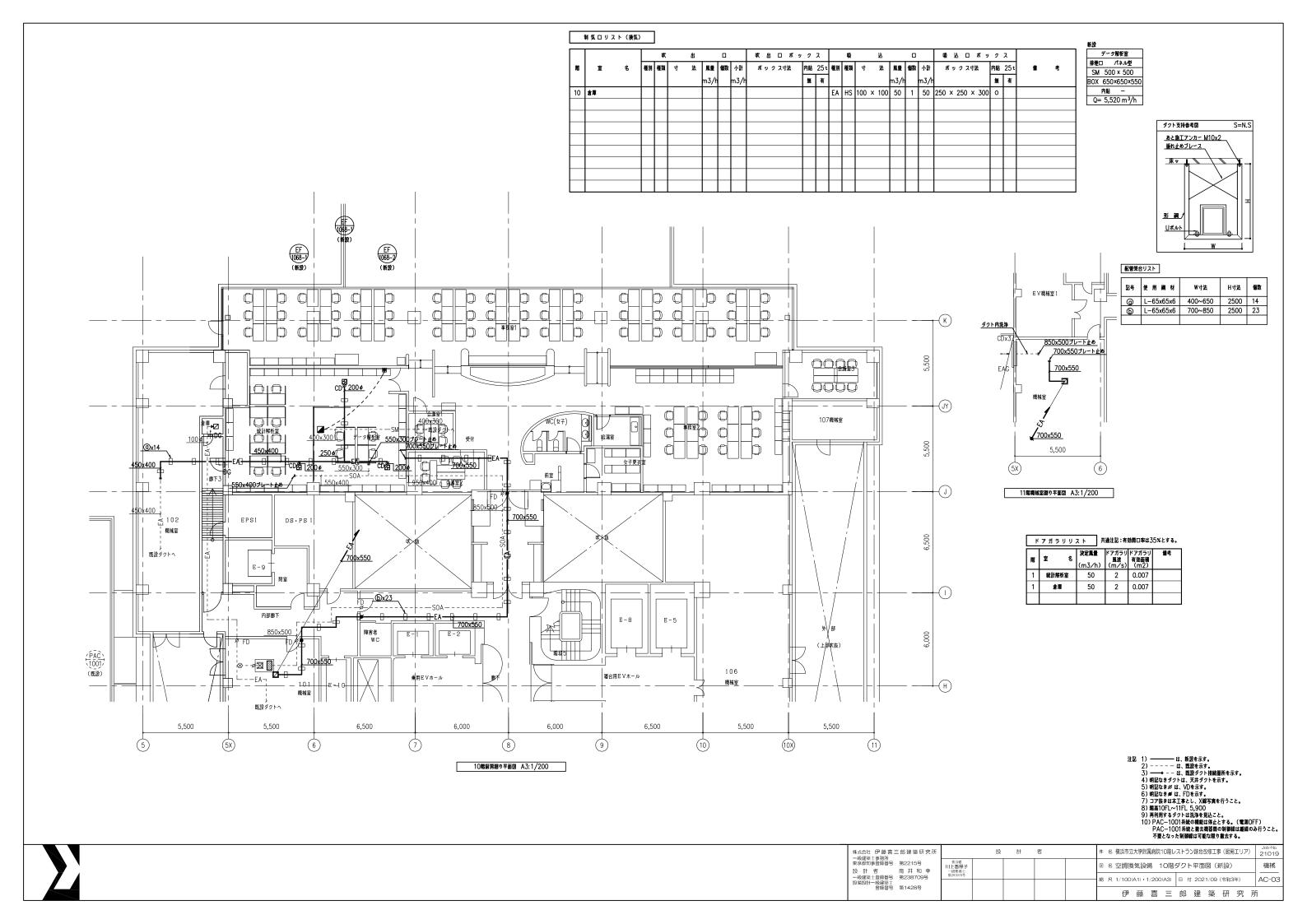
高効率電動機:JIS C 4212(高効率低圧三相)、JIS C 4213(低圧トップランナーモータ)

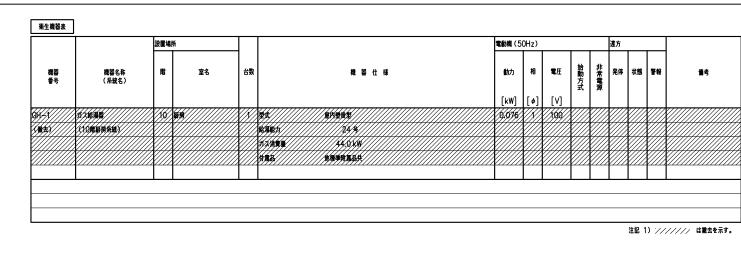
式会社 伊藤喜日 級建築士事務所	三郎建築研究所		設	āt	者	件 名 横浜市立大学附属病院10階レストラン跡地改修工事(厨房エリア)	Job-No. 21019
京都知事登録番号	第2215号 筒 井 和 幸	担当者 川上香屋子 一級建築士				図 8 空調換気設備 機器表(撤去・新設)	機械
-級建築士登録番号 #備設計-級建築士	第238709号	第297079号				縮 尺 N/S(A1)・N/S(A3) 日 付 2021/09 (令和3年)	AC-01
登録番号	第1428号					伊藤喜三郎建築研究所	

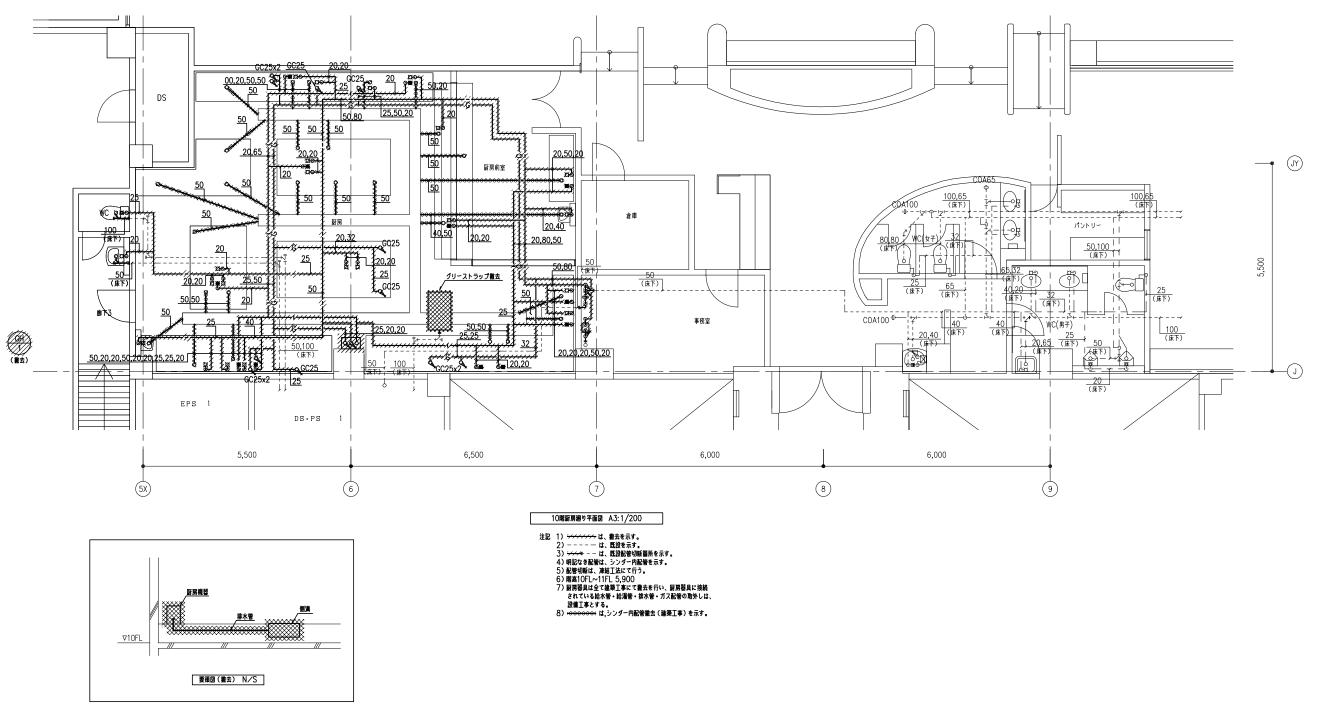




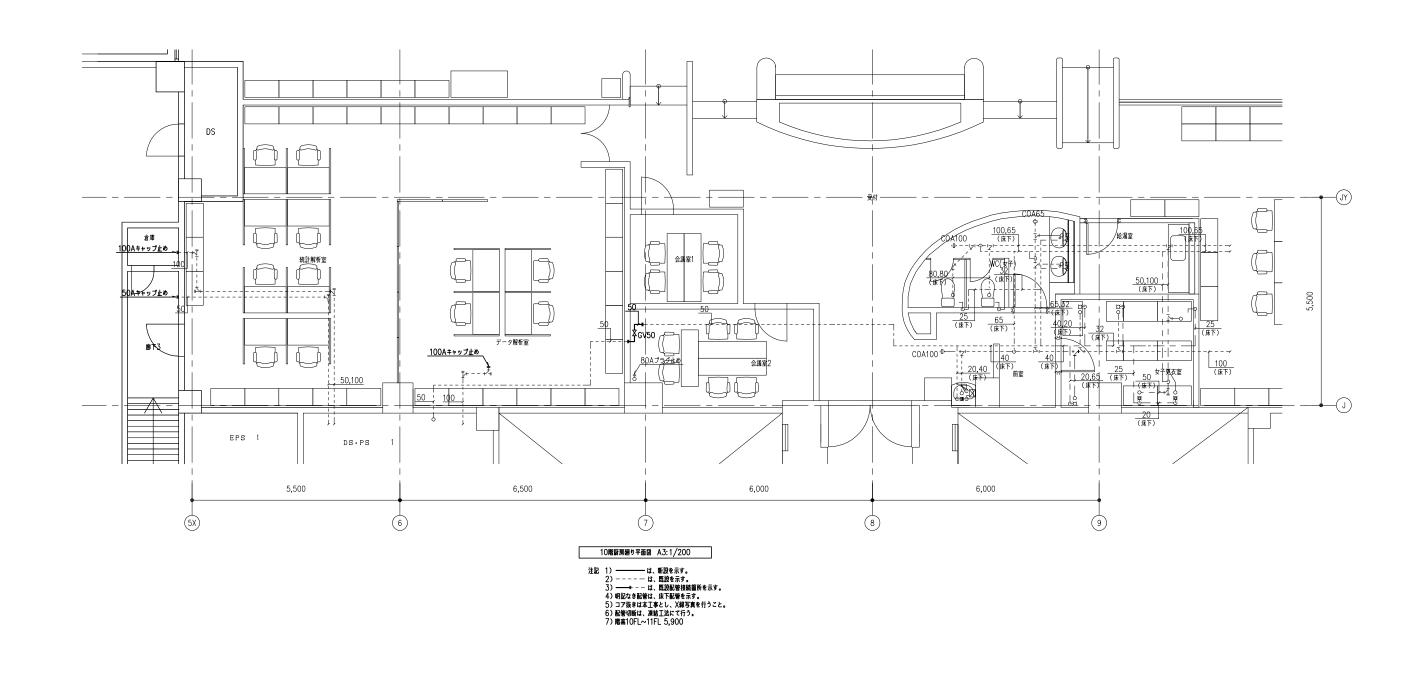
株式会社 伊藤喜三郎建築研究所一級建築士事務所		設	ā†	者	件 名 横浜市立大学附属病院10階レストラン跡地改修工事(厨房エリア) Job-No. 21019
東京都知事登録番号 第2215号	担当者 川上香屋子 一級建築士				図 8 空調換気設備 10階ダクト平面図(撤去) 機械
一級建築土登録番号 第238709号 设備設計一級建築土	一級建築士 第297079号				縮 尺 1/100(A1)・1/200(A3) 日 付 2021/09 (令和3年) AC-O2
登録番号 第1428号					伊藤喜三郎建築研究所

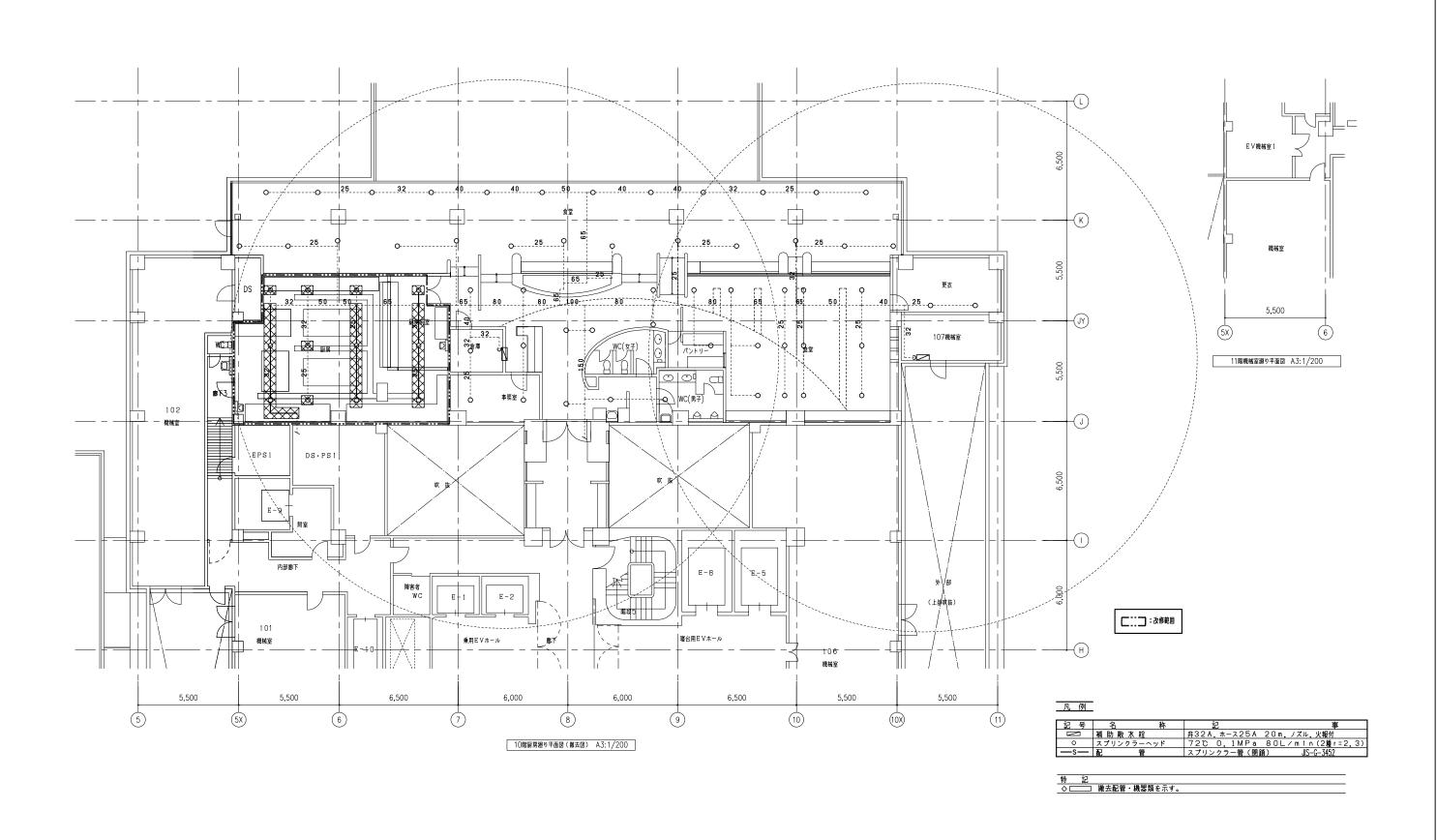






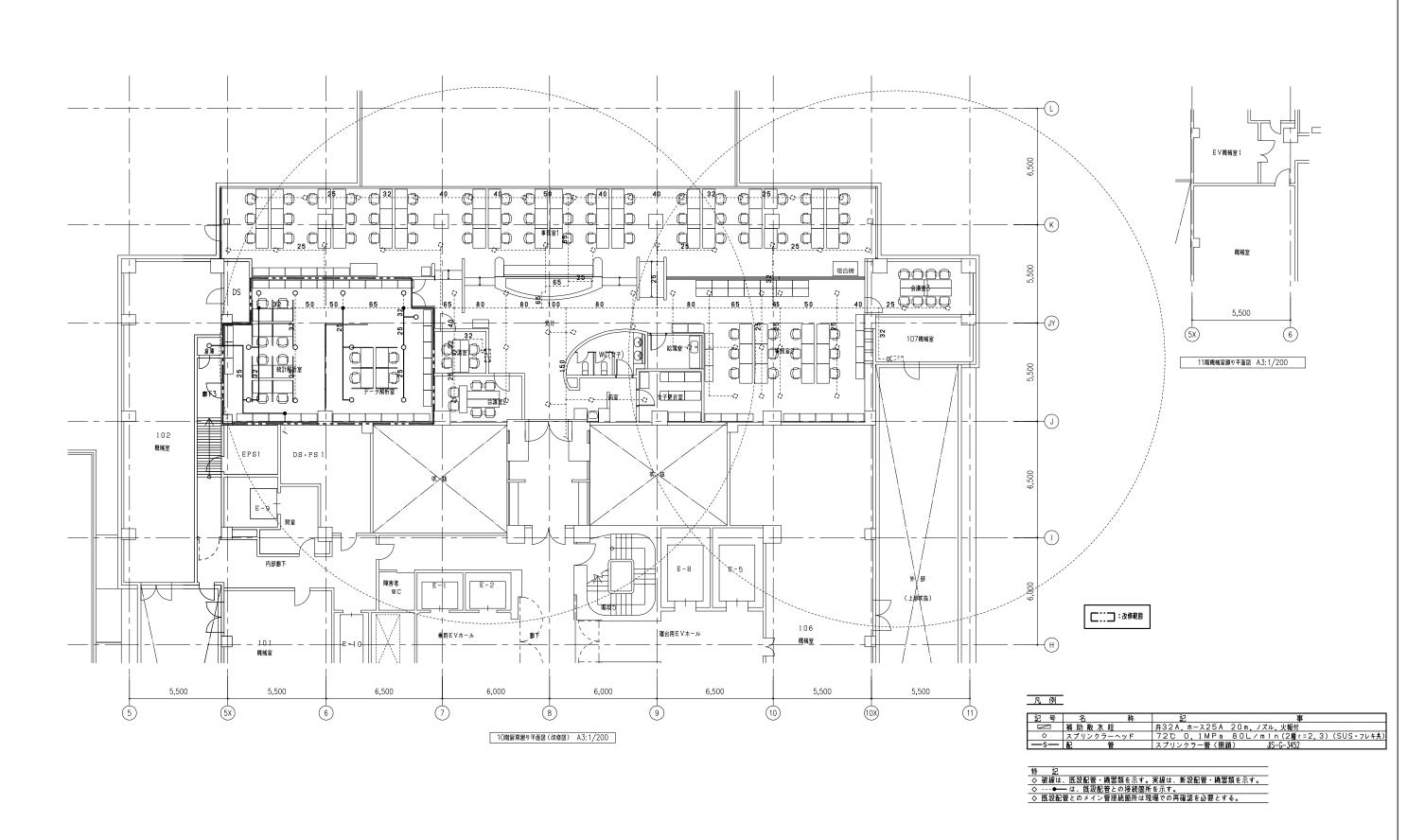
株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 一級建築士事務所		設	計	者	件 名横流	市立大学的	対属病院10	の階レス	ストラン	/跡地改	以修工事	( 厨房	エリア)		21019
東京都知事登録番号 第2215号 設計者 筒井和幸	担当者 川上香屋子 一級建築士				図名衛	生設備	10階四	四面	図 (撤	去)				]	機械
一級建築士登録番号 第238709号 設備設計一級建築士	第297079号				縮尺 1/5	50(A1) • 1	/100(A	3)	日付	2021	1/09 (	(令和3:	年)		P-01
登録番号 第1428号						伊藤	喜	Ξ	郎	建	築	研	究	所	

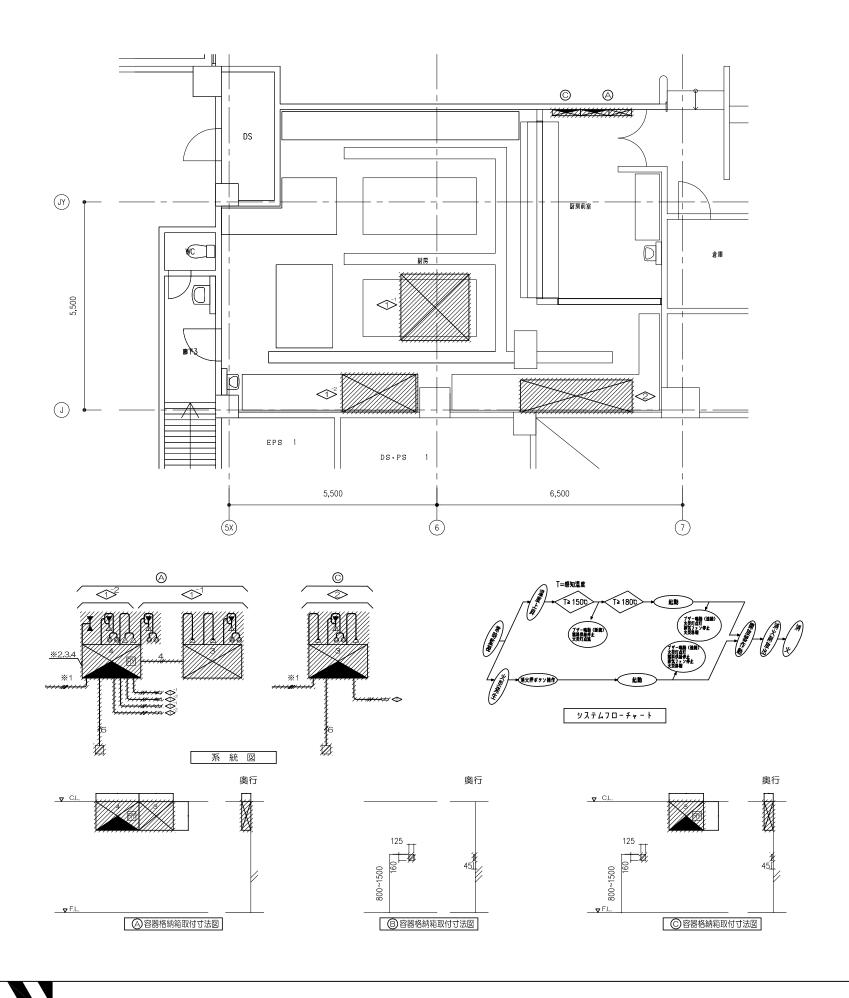


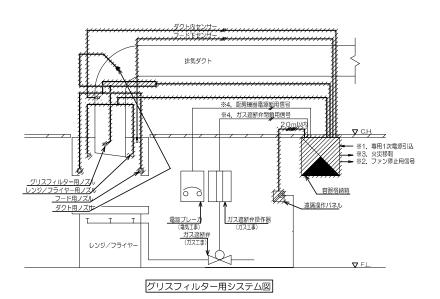


 
 株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 - 船建築1事務所 安京総加海整督号 設計 者
 設計 者
 件 名 模浜市立大学関属病院10階レストラン徐地改修工事(原育エリア) 21019
 20019

 設計 者 - 般建築1 登録音号 総開設計 - 般建築1 金銀福音号
 第22159 第 22387099 総開設計 - 般建築1 金銀福音号
 第 2387099 第 1428号
 第 2 第 1/100/A1)・1/200/A3 日 付 2021/09 (会和3年)
 伊藤喜三郎建築研究所







	凡例(参考)	
8 5	名 称	
	容器格納箱(制御用容器3本入)バッテ	リー内蔵
	容器格納箱(制御用容器4本入)バッテ	リー内蔵
$\boxtimes$	容器格納箱(連動用容器3本入)	
D	フード用ノズル ( H-3	0型)
<b>→</b>	グリスフィルター用ノズル (DR-3	0型)
<b>—</b>	ダクト用ノズル (DR-3	0型)
<b>⊳</b> ——	大型レンジ用ノズル (DR-3	0型)
▶	小型レンジ用ノズル (DR-3	O型) (注記)
	ダクト内センサー(有効感知範囲2000×1	600) ×1. 専用1次電源(AC100V 18VA×制御ユニット数)引込工事=電気工事
	フード下センサー(有効感知範囲 420	○○○ ×2. 排気ファン停止用電路=電気工事
	遠隔操作パネル	(消火剤容器ユニットから、無電圧α接点 125V,0.5Aを準備するものとする) ほん
SY	センサーユニット	※3。防災艦等への火災信号移信電路=電気工事 書
RY	オプションリレーユニット	# 2、終3人7ン学上用電路~電気工等 (消火剤容器2 ニットから、無電圧の接点 125V,0.5Aを準備するものとする) # 3、防災監等への火災信号を信電路~電気工事 (消火剤容器2 ニットから、無電圧の接点 125V,0.5Aを準備するものとする) # 4、電別艦形反びガス艦形の伸生信号用電路~電気工
	銅管 Ø10XØ8	※ 4. 電源遮断及びガス遮断の停止信号用電路=電気工事
	耐熱又は、耐火電線	(消火剤容器ユニットから、無電圧α接点 125V,0.5Aを準備するものとする)
	天井点検口(建築工事)	5.本消火装置の排気ダクト部分防護範囲は、水平5mである。
	ガス遮断弁操作器(ガス工事)	6。容器ユニットは、放出ノズルまで11m以内 且つ、火弾等より1m離れた位置に設置の事。
$\bowtie$	ガス遮断弁(ガス工事)	7。容器ユニット取付部及び各フード部の直近に、点検口(建策工事)を設けてもらう事。
60	電源ブレーカ(電気工事)	8. <del>//////</del> は、撤去を示す。

## ※フード消火設備は全て撤去すること。

## 参考図

一級建築 東京都知 設計 一級建築	株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 一級建築士事務所	設 計 者					件(	件 名 横浜市立大学附属病院10階レストラン跡地改修工事(厨房エリア)									o-No. 019
	東京都知事登録番号 第2215号 設計者 筒井和幸	担当者 川上香屋子 一級建築士					図(	図 名 消火設備 10階フード消火平面図(撤去)(参考)						機	機械		
	一級建築士登録番号 第238709号 設備設計一級建築士	第297079号					縮月	R 1/50(A	1) • 1/	(100(A3)	B 15	1 202	1/09	(令和3	年)	P-	-05
	登録番号 第1428号							伊	藤	喜 三	郎	建	築	研	究	所	